

ユーモアスピーチ船橋

2019 (R1) 年 7 月 11 日発行

ジョークは暮らしの調味料・ユーモアは人生のかくし味

159 回船橋ユーモアスピーチ

2019 年 7 月 11 日 (木)

3 分間スピーチ

スピーチテーマ 「お洒落」、「メール」

ロングスピーチ

植野 晏生さん「江戸ちょっと覗き見」

主催：NPOシニア大楽

ユーモアスピーチ共和国・船橋支部

支部長：長嶋秀治 043-261-5832

発行者：長嶋秀治

編集&事務局：町田雅和

267-0066 千葉県緑区あすみが丘 5-26-7 T/F 043-294-2911

mac555new@ybb.ne.jp

参加費 500 円 (入会金 1000 円)

開催日と場所

毎月第②木曜日 14:00~16:30

会場「ニッセイ・ライフプラザ船橋」
船橋市湊町 2-1-1 日生船橋ビル 1F

6 月 13 日の参加者：佐藤、工藤、稲葉、中島、飯野、川田、はらだま、山田、常廣、山中、入江、松永、辻内、石渡、植野、早瀬、町田、長嶋 18 名

ロングスピーチ

「私の老人ホーム」

佐藤 重剛さま

当地、この船橋市に住んでいた私どもは、ちょうど 5 年前の 6 月、未知の県・埼玉県に住む羽目になりました。海無し県で、土地勘も無く、方向音痴や勘違い等々しばしば。が、しかし「住めば都」とか。政令指定都市「おおみや市」から電車で約 10 分、宇都宮線（東北本線）の「蓮田駅」前の「老人ホーム」に住んでいます。介護付有料老人ホーム **蓮田オークプラザ 駅前温泉館** と称する所であります。



施設サイドでは となりは「病院」前が「駅」中には天然温泉「琥珀の湯」 と宣伝しております。

次に 当蓮田オークプラザの主要点を !!

○ 部屋は A タイプ (64 m² 二人用) と B タイプ (32 m² 一人用) とが有り、それぞれ 32、64 室有り、A (7~10 階)、B (3~6 階) で、各階の定員数は 16 名、依って総定員は 128 名。

○ しかし、A タイプ二人部屋を一人で住む住民もかなりおり、空部屋も有ったりで 100 名弱の入居者。

○ 65 才以上の入居者で、75~85 歳、31%、85 歳以上が多く 66%。男女比では女性が多く 59%ほど。

○ 介護の要否では自立者 及び要支援 1・2 が 60 余名、介護 1~5 が 25 名 (前年度)

○ 入居者平均年齢 86 歳、埼玉県出身者 55%。別館に機能訓練室、シャトルーム 等 有り

○ 介護・看護職員、生活相談員、機能訓練・直接処遇担当員、栄養・調理師 等々 70 余名 (含非常勤者)

○ 門限無し、旅行・外泊 OK。老ホ食堂：一般外来者も OK (別室) 地域貢献：外来者足湯 等

HASUDA OAK PLAZA



○ 高層階から：富士山、筑波山、日光男体山、浅間山、秩父連山、スカイツリー、県立がんセンター・日本薬科大などの高層建物、おおみや・上尾・新都心・浦和・川口等と思われる市街地の遠望。

○ 以下省略

蛇足) 私達二人は 自称 **健康体**ゆえ **三食自炊**しており、買物などの為もあって 80 才の**高齢者運転中**

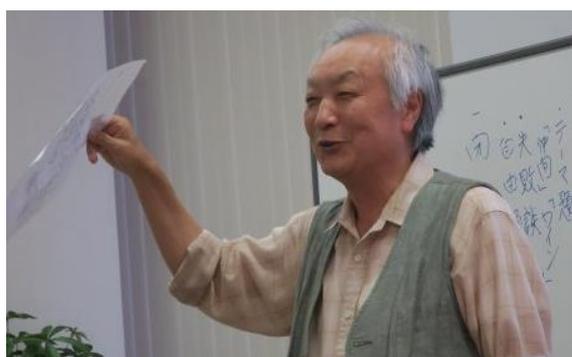


ロングスピーチ

「私のルーレット必儲法」

工藤 文夫さま

○IR 法案可決に伴い、6年後の 2025 年大阪万博の会場の中にカジノが出現します。
○大阪以外にも並行して、博多・苫小牧・横浜・築地等々にもオープンの噂話あり。
○現状の国内で実施されている、宝くじ・ロト・競輪・競馬・オートレースよりも、還元率が良いため、素人の私でも、儲かる確率は高くなります。
○私の場合、過去 4 戦 3 勝 1 分けで、勝率 100%で負けなしです。
○しかし、ギャンブルですから、あくまで自己責任です。少しの努力で、結構儲かる経験から、小銭を稼ぐのには、一番だと思いますが・・・。??



3 分間スピーチダイジェスト テーマ「仲間」「ワイン」

植野 晏生：「看護婦さん来訪」

25 年前岡山へ赴任した。その頃通風で通院。主治医は備中松山城の城主・水谷家の家老の子孫。藩主に跡継ぎがなくお家断絶の時に赤穂の大石内蔵助に城明け渡しをした鶴見内蔵助だ。その医者は藪医者だと思う。その為図書館で勉強したので通風に詳しくなった。その病院の優秀な看護婦さん二人が 2 泊 3 日で遊びに来たので、豊洲市場・東御苑・日本橋・銀座など案内した。疲れた。彼女らが私の追っかけかと思ったが、女房の仲の良い友達でその縁で来てくれたのを知り、がっかり。妻は女たらしだった。

山中 昇：「ワイン」

長男が高校卒業後ワインのソムリエを目指した。39 歳になった今では某上場企業の会長の専属ソムリエとして世界中を駆け巡っているが、駆け出しのころ、勉強する中で 400 万円近い借金を作った。相談があった時点ですべて払ってやり、金利負担を止め、親子で契約を交わし、5 年で均等分割・返済させた。ワインの道はカネがかかる。

工藤 文夫：「飲み仲間」

私の飲み仲間悲しい出来事が発生致しました。まだ 71 歳にもかかわらず、以前より飲む量が増え、食べるつまみがさらに増え、同じ注文しても気が付かずに、店に文句を云い、カラオケで、他人が歌っていても、横から大声で騒いだり、挙句の果てには、マイクを取り上げる始末。ついに店から出入り禁止をくらいました。本人には何度も注意をしましたが、改心することが見受けられないため、年号が変わったのを機に、『絶交』しました。自分もこのようにならないように十分注意したいと思いました。「平成の別れ」

松永 成三郎：「ワイン」

20 数年前のことです。当時、ヨーロッパに駐在していた長女夫婦達とフランスの観光を兼ねてワイン蔵巡りをしたことがあります。

ボルドーのとあるシャトーの広大な地下蔵の真ん中で 10 本ぐらい置いてあった試飲用のカビの生えたボトルがどれもこれも美味しく、すべて一口、二口飲んでしまいました。その結果へべれけになってしまい、元のロビーまでの 20 段程の階段を上るのが大変で苦勞しました。しかしその時のワインの美味しかったことは一生忘れられません。今は甘く懐かしい思い出です

町田 雅和：「ワイン」

イタリア旅行した時、フィレンツェで自由時間がありまして、ツアー仲間の殆どがミケランジェロのダビデ像を見に行きましたが、私は男の裸の彫刻を見るより、美味しいワインが飲みたいと、一人でワイナリーツアーに行きました。そんなワイン好きの私がお勧めなのは、高級イタリアワインでなく、サイゼリヤのオリジナルワインです、グラスワインが一杯 100 円、ドリンクバーより安い、他にはホームセンターの、カインズホームで売っているオリジナルワインのリコリコです、これはチリ産ですが、白、赤共に安くて美味しいです

入江 清之：「带状疱疹」

4 月下旬带状疱疹に罹り、その痛みの凄さに苦悶した。近所の皮膚医院へ 3 週間も通ったが、快方に向かわず痛みも取れないなので、これは带状疱疹の後遺症として出る神経痛の痛みかと不安になり、大学病院を紹介してもらった。大学病院の医師は私のお話を聴くや、直ぐにブロック注射を 1 週間に 1 回、都合 4 回打ってくれた。その結果 2 回目で痛みが少々、3 回目では痛みがほぼ、そうして 4 回目ではこれまでの痛みがうそのように消えた。ブロック注射のお陰で带状疱疹は退場しました。

飯野 望：「仲間」

ユーモアスピーチの会の皆様は、

- ①皆元気。②経験豊富。 ③知識があって良識がある。④お金がある。
- ⑤ユーモアがある。その末席を汚している私ですが、よろしくお願い致します。

佐藤 重剛：「仲間」

近頃 “100 年人生を楽しむ” 時代だ。と言われております。埼玉県でも「地域デビュー楽しみ隊」と称する高齢者グループが、3 年ほど前に発足した（県主体）。

総監督 市村正親氏、隊長 林家たい平氏、以下 28 名

（内 女性 6 名）の楽しみ隊員から成っております。年寄りには教育と教養が必要だとか。即ち、今日行くところが有る・今日用が有る、つまり外出すること。



埼玉県下のほぼ全域に隊員がおり、無論 毎回全隊員が揃う訳ではありませんが、観光振興、傾聴、子育て、地域・自治会活動、そば・料理、クローバー育成、マジック、ダンス、スポーツボラ 等々で活動。或いは自主企画の 3/3「彩の国 地域デビュー万博」を催したり、秩父夜祭に有志で参加したり などなど。正にこのような関連にある吾等の楽しみ隊員こそが、真の「仲間」と信じております。

早瀬 君子：「仲間」

学生時代の仲間や会社仲間とは親しい友達関係に発展し今でも交流が続いているが、リタイア後に出会ったサークル仲間と親しい付き合いに発展した人は皆無である。何人かの女性と個人的な付き合いに及んだが、何度か会う内に話が合わずに友達には発展しなかった。同じ目的を共有する何人もの仲間との交流は楽しいが、お互いにプライベートにまでは立ち入らない緩い関係が仲間付き合いの良いところ。“3 人の仲間より 1 人の友達” などと言うが、この「船橋ユーモア」のお仲間と出会って、今の私には 3 人の仲間の方が楽しく思えるし、“仲間以上友達未満” のお付き合いを願っています。

長嶋 秀治：「仲間、ワイン」

2012 年 65 才以上の高齢者のうち認知症の人は推計 462 万人と言われる。引きこもりも原因の一つとされているが、ユーモアスピーチの会に参加している人は問題なし。赤ワインも予防にいい。その昔、長崎の出島や横浜の外国人が赤ワインを飲んでいを見た日本人は血を飲んでいると恐れたという。今では認知症を防ぐポリフェノールの多い飲み物として大いに飲まれている。二次会で赤ワインを飲んで認知症を予防しましょう。

山田 正國：「仲間」

仲間とは 友達よりちょっと距離があるのかな、高齢になると新しい友達はなかなか造り難い、しかし、仲間ならそこにいるだけで、仲間と云えそうだ、第一にユーモアスピーチ友の会ノメンバー、小生はその他ケアセンターのリハビリ仲間、ほかに水墨画教室の絵の仲間、以前は俳句の仲間など、もう少し若いころは ジムの仲間 などそれぞれの仲間にあえばそれに合った話題を話すことが勿論趣味の会は会自体の目的があるし、お喋りばかりはして居れない。

話掛けて返事があればよし、なくたって一向に構わない。しかし、やっぱり話が続く返事が欲しい これが仲間だ。

予告：8 月 「船橋ユーモアスピーチの会」

8 月 8 日（木）14 時 ニッセイプラザ 1 階 会議室

ロングスピーチ 辻内 京子さん 実験 「川柳」

大塚 親雄さん「温故知新一印旛沼掘割普請」

スピーチテーマ 「楽しみ」、「蝉時雨」